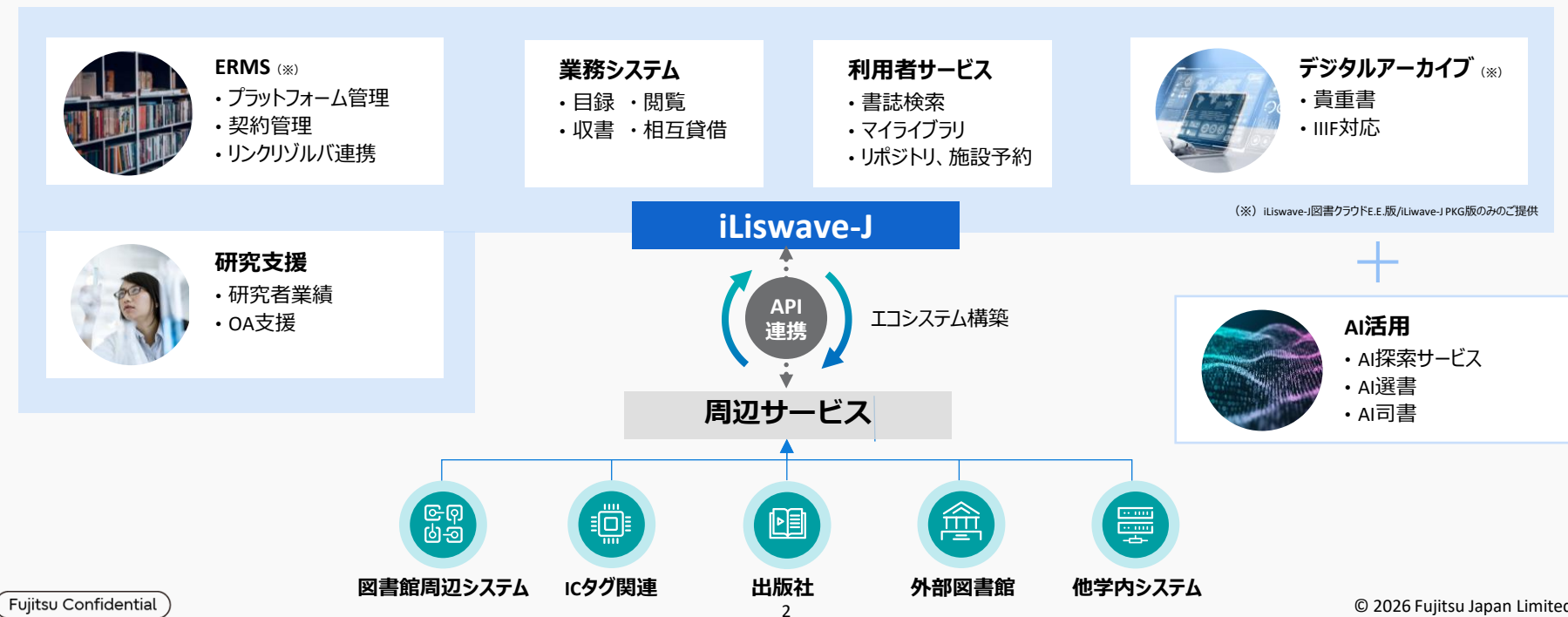


大学図書館ソリューション 「iLiswave-J」ご紹介

富士通 Japan 株式会社

Fujitsu 大学ソリューション「iLiswave-J」

業務システムやOPACを中核に様々な機能や周辺システムと連携し、
図書館業務と利用者サービスを高度化する図書館システム



大学図書館を取り巻く環境と富士通が目指す姿

コロナ禍を経て大学図書館への期待とニーズが大きく変化しています。

図書館の教育や研究への貢献、電子リソース利用が急速に拡大し、今後も電子ジャーナルをはじめとする電子情報資源へのアクセスを
保証することが大学図書館の課題となっています。

環境変化
(大学図書館を
取り巻く環境)



**研究成果
の公開**



**電子リソース
利用拡大**



**DX推進の
必要性**



**AI
の急速な進化**



**事業継続
の実現**

**富士通の
考え方・
目指す姿**

**オープンアクセスへ
の対応**

LSPを目指す
LSP : Library Services Platform

**ハイブリット図書館
の実現**

図書館でのAI活用

事業継続の実現

激しい変化に対応する継続的な進化と提供する価値の向上

スマートフォンアプリによって図書館がもっと近くなる



1 プッシュ通知・バッジ表示機能

返却期限や予約資料の到着、新着情報などをスマートフォンへ通知します。アプリを開かなくても重要なお知らせを見逃しません。



2 カメラ機能

書籍のバーコードやISBNをスマートフォンカメラで読み取り、蔵書検索や資料情報の確認をスムーズに行えます。



3 オートログイン機能

一度ログインすれば、次回以降はID・パスワードの入力を省略できます。手間なくスムーズにサービスを利用することができます。

4 スマホ貸出機能

利用者のスマートフォンを貸出機として利用可能です。学生証や利用者カードを持ち歩かなくても貸出手続きが行えます。



知の共有により学生に豊富な選択肢を提供

iLiswave-Jでは、利用者への片方向の情報発信だけでなく、利用者からの情報発信サービスも搭載しております。
ユーザレビューやタグ、レファレンスデータなどが登録でき“集合知”として蓄積され、他学生の意見を参考に、必要な学術情報の探索が可能です。

1

投稿

利用者や職員が情報を投稿

2

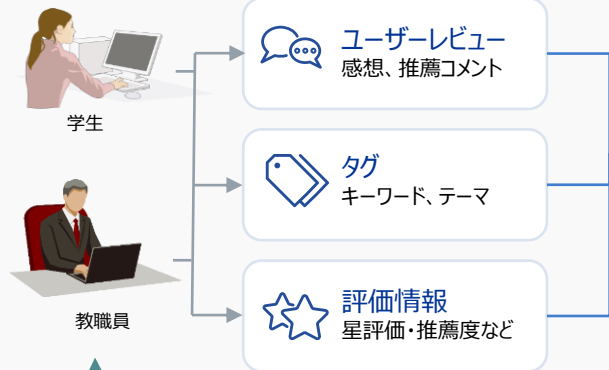
蓄積・共有

情報を集合知として蓄積・共有

3

活用

利用者が資料選別に活用



集合知

投稿された情報をOPACに
集約し、集合知として共有



- ✓ レビューを参考に資料を選択
- ✓ タグから新しい資料を発見
- ✓ 必要な学術情報へのアクセスを支援

活用経験が新たな投稿に繋がり、知の循環が広がります

AI探索サービス

フリーワードを入力するとAIが類似度の高い本から順番に結果を表示。
利用者が思いもよらなかった本との出会いを創出。

入力するキーワードは文章でもOK

シラバスの概要欄、アブストラクト、キャリア関連の文章など、200文字まで入力、探索が可能です。初学者で専門用語がわからなくても、関心があるキーワードを入力することで探索することができます。

AIがキーワードを類推・拡張して探索

キーワード一致ではなく、入力されたキーワードのニュアンスをAIが拡大し解釈した結果を表示します。検索内容には目次あらすじ情報も含まれるため、OPACとは違った視点で本を探索します。

気になった本はOPACへ遷移してすぐに予約可能

探索結果の「☒読みたい」ボタンを押すと、その本のOPACの書誌詳細画面へ簡単に遷移します。
配架場所の確認や予約をすぐに行うことができます。



「☒読みたい」から実際に資料を予約して貸出可能
「☐関連本」から類似の本へと何度でも再探索を展開

図書館におけるデータ活用

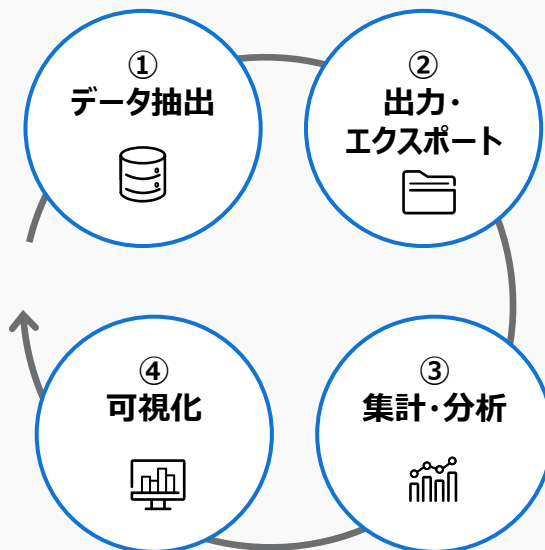
コロナ禍を経て大学図書館への期待とニーズが大きく変化しています。

図書館の教育や研究への貢献、電子リソース利用が急速に拡大し、今後も電子ジャーナルをはじめとする電子情報資源へのアクセスを保証することが大学図書館の課題となっています。

業務運用・データ蓄積

図書館システムデータ	
貸出返却	OPACログ
目録	ILL履歴

外部システムデータ	
PCロッカー	入館ゲート
施設利用	イベント
SNS	授業



新たな価値創造

	大学IR
	運用改善
	新サービス

図書館の
運用改善 × 利用者への
価値向上

SaaSによる長期利用の実現1/2

■ IaaS（Azure・AWSなど）上のPKG持ち込みではなく、SaaSでのサービス提供

✂ 保守運用の負荷軽減

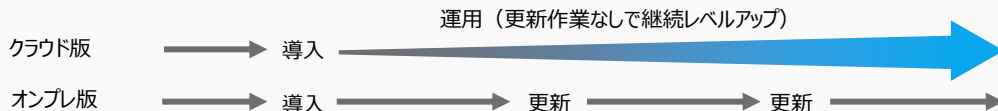
- ハードウェアの保守やメンテナンスなど、システム安定稼働に関わる**保守作業が不要**
- システム管理の負担を大幅に軽減**

保守運用：●富士通 ●大学様

	設置場所	ハードウェア	OS	ミドルウェア	アプリケーション
クラウド版	クラウド上	●●●●●			
オンプレ版	大学様環境	●●●●●			

📈 システム更新にかかる作業・費用の削減

- 初回導入以降、**更新や移行など大学様による作業は不要**
- 機能追加やレベルアップが定期的に適用されるため、**常に最新の環境を利用可能**



☁ 高付加価値業務へのシフト

専門スキル必須業務
利用者支援業務

システム
運用業務

その他
業務

As is
(オンプレ版)

To be
(クラウド版)

増

減

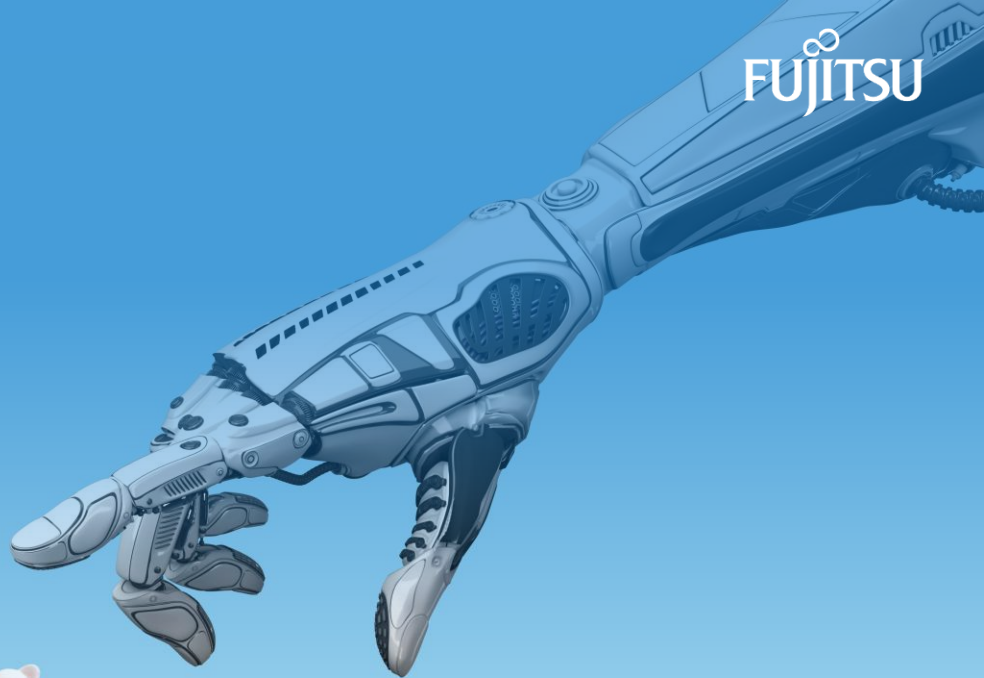
従来のパッケージ版で必要だった**システム運用業務を効率化**することで**図書館職員をサポートし、図書館サービスの高度化や利用者支援**といった付加価値の高い業務へのシフトを支援

大学の変革を、共に

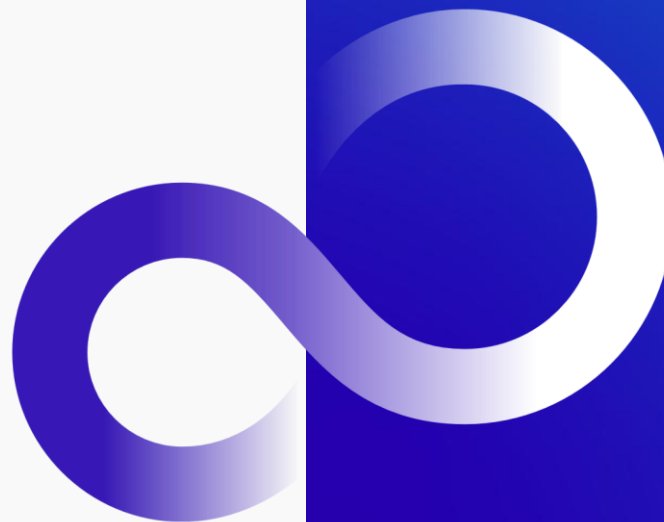
大学を取り巻く環境は急速に変化しており、
未来を拓くには大学と富士通、双方の変革が不可欠です

富士通は、これまでの知見と技術を活かし、
大学様との共創を通じて教育の新たな価値を創造します

日本全体の教育発展、そして社会課題解決の貢献に向けた
大学変革への一歩を共に踏み出しませんか



Thank you



<お問合せ先>

富士通Japan株式会社

Public&Education事業本部 ビジネス変革室

メール : fjj-univ-offering@cs.jp.fujitsu.com